

## AI ロボティクス検討会の設置について

令和 7 年 8 月  
経済産業省

## 1. 本検討会の開催趣旨

我が国では、構造的・慢性的な人手不足による深刻な労働供給制約社会の到来が見込まれ、将来の経済成長において厳しい局面を迎えている。この局面を乗り越えるうえで、ロボットの活用は有用な手段の1つである。

一方で、ロボットの導入は、自動車産業やエレクトロニクス分野などの従来からロボットを活用してきた市場に限られ、建築、医療・介護、小売、物流などの領域においては、ロボットが使用者のニーズに十分に答えることができておらず、浸透しているとは言えない状況にある。

こうした中、近年、AI 技術の発展・普及により、ロボティクス技術は急速に進化している。米中で開発が活発となっているヒューマノイドロボットに加え、今後、AI 技術によってロボットの自律性が向上することにより、様々な現場での活用を想定したロボット開発が活発化している。

我が国におけるロボット未活用領域への活用促進に向けては、ロボットと AI 技術の融合によるイノベーションをより加速する必要がある。さらには AI ロボティクスの活用を通じて全産業での DX の強化や新たな付加価値の創出を進めていくことが求められる。また 2025 年 6 月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針 2025」においても、「AI や先端半導体の実装先となるロボットについて、2025 年度中に、実装拡大・競争力強化に関する戦略を策定する。」ことが示されている。

以上の背景を踏まえ、今年度内に我が国のロボット産業の将来像をとりまとめた戦略を策定するにあたり、今後必要とされる AI ロボティクスの活用に向けた産業構造の転換に関する諸課題を整理し、戦略の大きな方向性を検討するため、AI ロボティクス検討会（以下「検討会」という。）を開催する。

## 2. 本検討会の進め方

令和 7 年 8 月～9 月にかけて、3 回程度開催し、戦略の大きな方向性となる戦略の骨子案の取りまとめを目指す。その後も、令和 7 年度内の戦略の策定に向けて、議論を継続する。

### 3. 事務局

検討会に係る事務は、経済産業省製造産業局および商務情報政策局が行う。

### 4. 構成員

検討会の構成員（委員等）は、別紙のとおりとする。

(別紙)

AI ロボティクス検討会 構成員（委員等）名簿

(五十音順、敬称略)

<委員>

|                 |   |
|-----------------|---|
| 阿藤 将也           | 株式会社 LexxPluss ファウンダー兼 CEO                                |
| 尾形 哲也           | 早稲田大学次世代ロボット研究機構 AI ロボット研究所<br>所長                         |
| 加藤 充            | 株式会社デンソー社会イノベーション事業開発統括部<br>部長                            |
| 久保田 由美恵         | 株式会社安川電機技術開発本部 AI ロボティクス統括部<br>部長                         |
| 富岡 仁            | TELEXISTENCE 株式会社代表取締役 CEO                                |
| 橋本 康彦           | 一般社団法人日本ロボット工業会会長<br>(川崎重工業株式会社代表取締役社長執行役員)               |
| 原田 研介           | 大阪大学大学院基礎工学研究科教授  |
| 羅本 礼二           | 一般社団法人日本ロボット Sier 協会アドバイザー<br>(ソフトバンク株式会社顧問)              |
| Allison Okamura | Professor,<br>Mechanical Engineering, Stanford University |
| JF Bastien      | ISO/IEC JTC1/SC22/WG21 C++標準化委員会言語進化部会<br>議長              |

<オブザーバー>

内閣府防災担当  
内閣府こども家庭庁  
総務省  
総務省消防庁  
文部科学省  
厚生労働省  
農林水産省  
経済産業省  
国土交通省